

見た・聞いた・感じた六時間(1995年3月号掲載・道上 琢男)



私が体験してきた火災現場や災害現場は、野次馬や活動部隊の大声そして消防・警察車両のサイレンやヘリコプターで騒然としているのが災害現場である。

歩いた六時間で見てきたものは、このイメージを根底から覆すものであった。

火災が起き、一方では家が倒壊し、生き埋めも発生し、それを取り巻く人もいる。道路を埋め尽くした自動車も、これは紛れもない災害現場なのである。

しかし何かが違う。

そうだ音がない・声がないのである。人々は燃え盛る火を、あるいは下敷きになった現場を指でさし示したただ啞然としている。

歩道を行く人々は一様に毛布を被り、うつむいてただ黙々と避難しているのである。

道路を埋めた自動車はクラクションを鳴らすでもなく、異常に響くのは火勢を増す火の音だけであった。

以下は、主に国道二号線を歩いて出勤した道中の記録です。

5時46分 地震発生。自宅二階で就寝中、大きな揺れで飛び起き夫婦で肩を組んで布団を被り揺れのおさまるのを待つ。被った布団にタンスの上の荷物が降り注ぐ。(次男の状況が心配、妻が大声で叫ぶも返事なし)家全体の荷物や家具の倒れる音で、家も倒れるけどお金がないなと話す。(諦めか、余裕があったのか)激しい揺れは実感よりも短く20~30秒程度であった。揺れが収まり電気を付けた。部屋中荷物だらけで妻の鏡台が壊れて転倒しているのがやけに目に付く。次男の部屋を覗くと、落下物に埋まり自分が購入したコンポを必死で押さえている。

5時48分 一階に降り思わずガスストーブを点火する、着火した。今思えば不用意なことであるが、ガス遮断弁も作動していないということは震度4程度であったのか。

5時49分 家の被害が心配で表に出る、建っていた。屋根瓦ずれていない。大きな亀裂なし。近所も明かりがつく、異常無いか声を掛ける、怖かったの声だけ。又、地面が揺れる、家が揺れる、余震だ、ギシギシ音がする。

5時55分 消防署に電話する、吉田等氏が出る。(異常ないか)

「異常ないかもなにもあるかいな、署前は水が噴き出す、地面は下がる、出てきたら目をむくで。」

(水は水道管の破裂か)

「違う、どろどろの水が島全体に吹き出ている。」出勤を判断し電話切る。

5時56分 顔を洗い、出勤する旨妻に告げる、牛乳とパンを出してくれる。6時30分の電車には乗りたい。

6時15分 電話が鳴る、3号非常招集を告げる、聞きながら靴を履く。次男に家の被害を見ておくよう指示する。

6時16分 東加古川駅に走る。道順の中間ごろから引き揚げてくる様子の人が増える。駄目かなと思いながらも駅をめざす。

6時25分 駅に着く、駅員が見通し立たずと告げる。電話いっぱい、途中のスーパーまで引き返す、次男に車の準備を伝える。

6時31分 自宅から車で出発する。名姫幹線を走る、以外に車は少ない。西明石二号線交差点で渋滞が始まる、信号が作動していない。ここまで被害は見られない。

6時52分 2号線に入る、至るところで民家の屋根瓦が剥がれているのが目につきます。渋滞、川重正門前で進まず。

7時20分 やっと明石駅前交差点、車は進まず、このまま車に乗っているか迷う。

7時30分 動かず、駅前交差点でUターンして帰るよう指示し歩き始める。(カメラを持っていないのに気が付く)

7時40分 山陽電車「大蔵谷駅」がある。2号線をひたすら歩く、倒壊家屋等は見られない。(神戸もこの程度かな)

8時00分 舞子駅までの間、歩道に瓦や壁が落下しているのが増える、危険だ。明石海峡大橋に異常は見られない。

8時30分 垂水駅前に着く、海神社の石灯籠等が全て倒壊している。福田川交差点で2号線通行止め、第二神明方面に誘導している。

9時00分 塩屋駅に近付くにつれ、毛布を被った人が西に向け歩いて来る姿が多くなる。誰も無言。(これは何故?)塩屋派出所付近が見通せる、煙が見える、消防車の姿が見える。以前に兄が間借りしていた家が倒壊している。隣が燃えている。派出所付近の家すべて倒壊している。酷い被害である。隣の消防団車庫は被害なし。積載車も無事で団員活動中である。(毛布姿は避難者か、この先どうなっているのか?)

9時30分 須磨区に入り、堺川を過ぎたところで山陽本線のレールが一箇所異様な曲がり方をしている、手前で電車が止まっている。そのレールから2号線上に一直線に亀裂と隆起が走っている。足が痛い、背広と革靴姿に気がつく。(自分に腹が立つ)煙の臭いがきつい。東の方向に黒い煙が全体に見える。(顔がべたつく、ススである。)

10時00分 須磨駅前から道路沿いを倒壊建物が埋める。千守交差点南角炎上中。消防車二台。市場中央に煙が一本見えるが。千守交差点から天神橋まで北側道路沿いの民家が軒並み倒壊している。(車道しか歩けない)太鼓橋を避けて網敷天神前に入る。鳥居や灯籠全壊。(通行人、昼間は子供の遊び場になっている。ゾーとする)線路北側から日産プリンスの建物か、倒壊が見える。長田区方面でいたるところから黒煙が上がっている。(被害の大きさを実感する。しかしサイレンも聞こえない。ヘリも見えない。この広範囲に消防隊の配備が完了したのであろうか?)

10時30分 村雨五丁目を南下した。お世話になったドクター宅付近覗く、道路に倒壊建物確認、覗きに行くわけにはいかない。村雨・磯馴一带の個人住宅が軒並み倒壊している、火は見えず。

11時00分 亀の子寺北側一带が炎上中。消防車なし。世話になった「高橋病院」が心配。入院患者はどう避難したのか。無言の避難者多数あり。大橋九丁目北道路沿いに火が見える。赤色灯も見えず。(足も痛い、付近の被害も大きい、近くの長田消防署に入ろうか、一人でも救助活動しようか、大いに迷う、これではポートアイランドの被害も想像を越えたものだろう。水上に行かねば、歩く。)

11時20分 大正筋入口から奥に火が廻っている。やはり消防車なし。(出張所のシャッター破壊している。消防隊の半数も出動できていないだろう)世話になった医院異常なし、喫茶店も異常なし、おばあちゃん宅は倒壊、どうしているかな。

11時30分 東尻池二丁目で足が痛くて動かない。ダウン。たまらず車を呼び止めた。神戸駅手前まで行く車であった。気持ち良く同乗させてくれた。(付近見る間もなく。足のマメ手入れ)スムーズに走る。

11時40分 神戸駅東交差点で下車する。道路南の市場付近倒壊、北側共同住宅の傾きとガラスの落下怖くて歩くに歩けない。栄町出張所東交差点から通行止め。

12時00分 タワーサイドホテル前高速道路の橋脚折損、落下が警察署前まで続く。(落ちない道路のはずではなかったのか)

12時20分 神戸大橋中間に到着、消防署建っている、一安心。急に関節が痙攣起こす。マメが痛い、座りこむ。

12時25分 消防署到着。タグ協会前・ポンツーン付近岸壁崩壊。署周囲陥没・隆起・土砂で目をむく。ハシゴを残して消防車が出ている。どうやって出したのか？以上、消防職員として、迷い苦しんだ6時間でした。